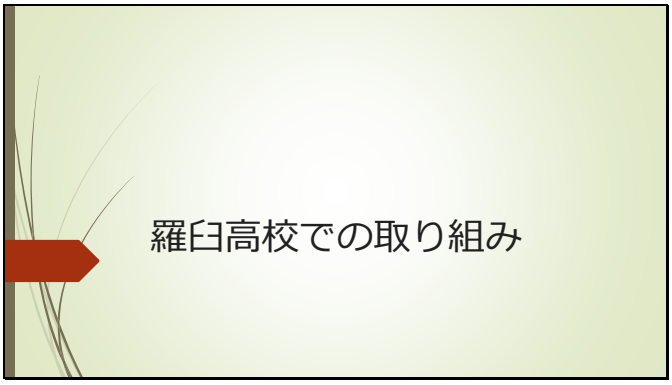
2019年度海洋教育パイオニアスクールプログラム

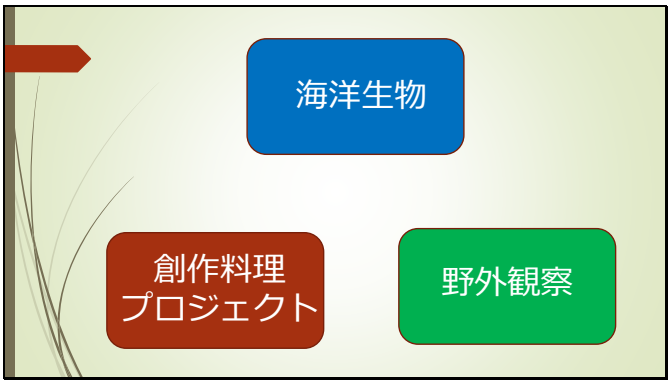
（地域展開部門）

実践記録集

北海道羅臼高等学校

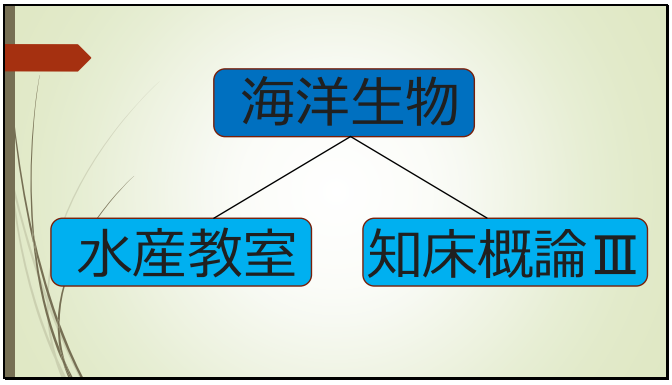


羅臼高校での取り組みについて発表させていただきます。

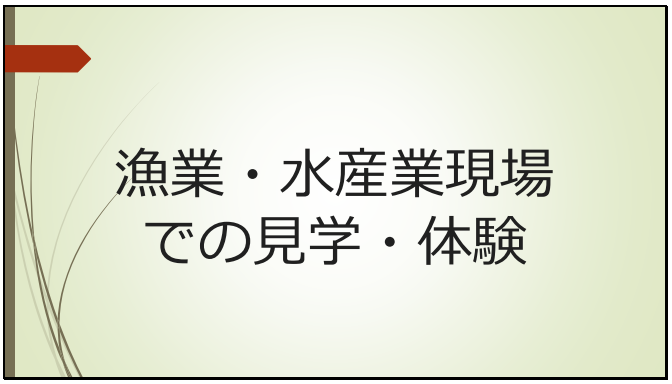


羅臼高校では、水産教室などのプログラムを取り組んでいる「海洋生物」、羅臼町の自然・環境について体験・研究しながら学ぶ「野外観察」、地元海産物をＰＲするために独自の料理をプラン・販売する「創作料理プロジェクト」の３つを主に行っています。

まずは、海洋生物です。



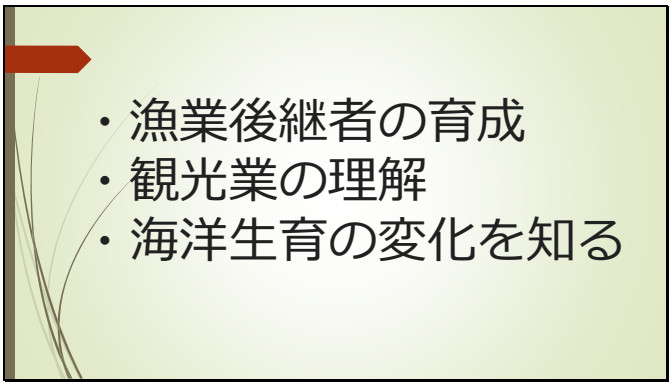
海洋生物は「水産教室」と「知床概論Ⅲ」の２展開になっています。その中から今回は「水産教室」の取り組みについて発表させていただきます。



「水産教室」は３５年続いている、歴史ある活動です。当初は、漁業後継者の育成を主として行っていた活動ですが、数年前から内容が見直され、漁業後継者の育成の他に、地元の主となる水産をどのように広められるのかを実際に係わっている方からのお話を聞いて考えられる内容になりました。そこで、プログラムも変わり、今年からは、「羅臼町の海産物」を使ったお土産ものなどのブランド・マーケティングの学習なども行われました。また、それらの食べ物がどのように販売されているかを見学する、販売チャレンジも行われました。
この他に、普段の高校生活ではあまり学ぶことのできない２つをご紹介させていただきます。

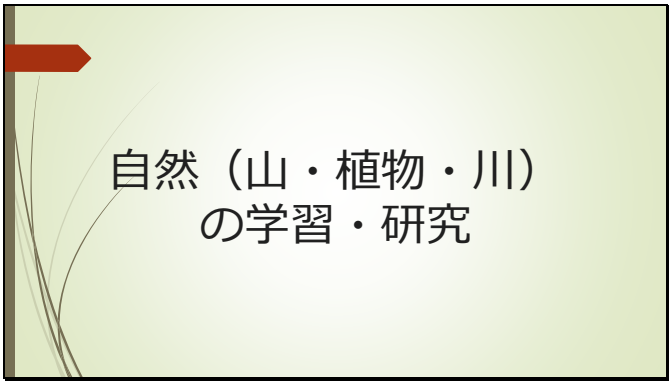
1つ目は、ロープワーク学習です。ロープワークとは、文字の通り、漁師さんが良く使用するロープワークの縛り方を実際に現地の方から学ぶ学習です。最後には、実際に漁港に行き、今まで習ってきたロープワークが現場ではどう使われているのかを見学しに行きました。

２つ目は、ダイビング実習です。この学習自体は、普通科高校ではほとんどありません。自然豊かな羅臼町の海にはどのような海洋生物がいるのかを実際に見ながら体感できる学習になっています。また、授業内でダイビングのＣ級ライセンスを取得できることもできます。また、今年からは、海にもっと興味が出てきた生徒などの任意で国家資格である潜水士資格を取得できるようになりました。今年度は３名受験を希望しています。

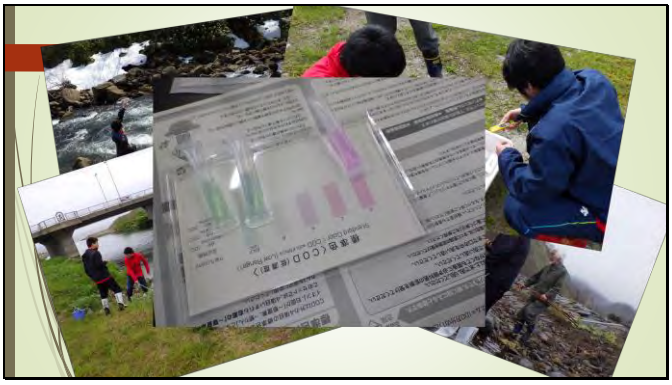


これらの活動で、漁業後継者の育成や、マーケティング学習等での観光業の理解、そして海洋生育の変化も学ぶことができます。

2つ目は、「野外観察」です。



この学習は、山や川などの学習や研究を行っています。海については、直接的には学ぶことはありませんが、間接的につながっている自然を学んでいきます。



昨年度は、羅臼町にある川の水質検査を行い、どのような成分が羅臼町の海洋を支えているのかを研究を行いました。それらの成果を東京大学で発表させていただきました。

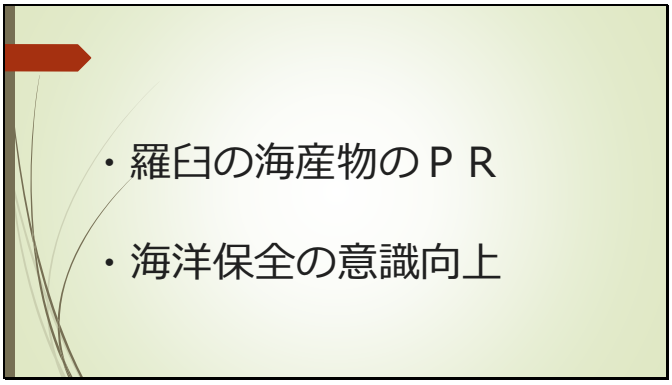
・海洋生育に係わる自然の理解
・自然環境の理解
・環境保全の意識向上

他にも、様々な活動を行っています。この学習を通じて、海洋生育に係わる自然を理解すること、そして環境保全意識の向上につながります。

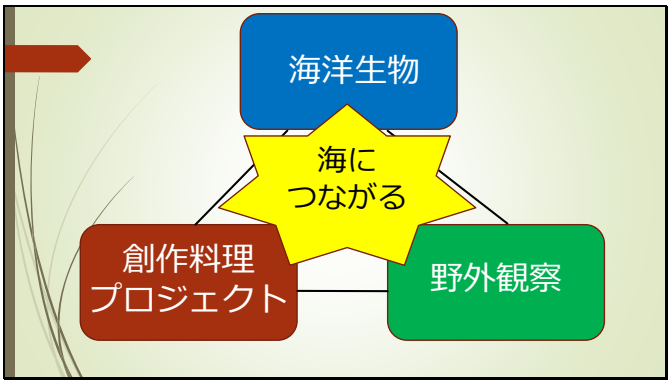
創作料理プロジェクト

３つめは、「創作料理プロジェクト」です。創作料理プロジェクトとは、高校生の自由な発想でメニューを創出し、地域素材の新たな活用方法や情報発信、地域の活性化を図るとともに、地域の食と文化について学習する活動です。昨年度の高校生チャレンジグルメコンテストで大賞を受賞しました。

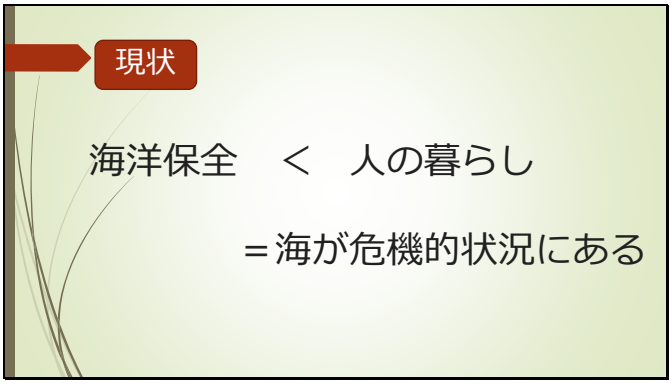
また、今年からは、これまでの料理の商品化を主として進めています。今年は、「らうす大漁焼き」という創作料理プロジェクトの初年に作成したメニューです。当時は２種類の味でしたが、商品化に伴い種類を増やし、販売に向けて進めています。



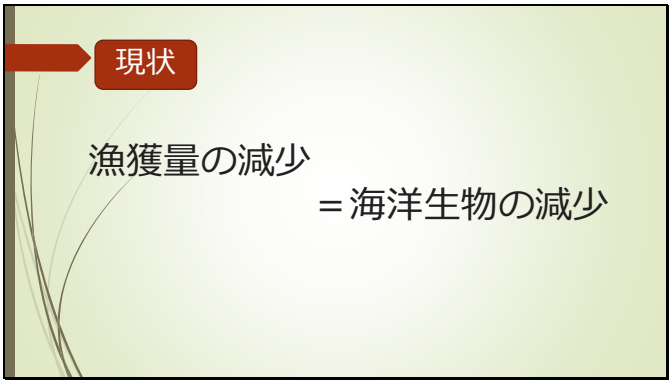
これらの活動で、羅臼町の海産物のＰＲのタメにどのような活動をするべきか考えル事ができます。また、今までの料理は、今の羅臼の海があってできるものです。今後羅臼の海から獲れる魚が変われば作れなくなる料理もあります。そうならないよう、海洋保全の意識が高まりました。



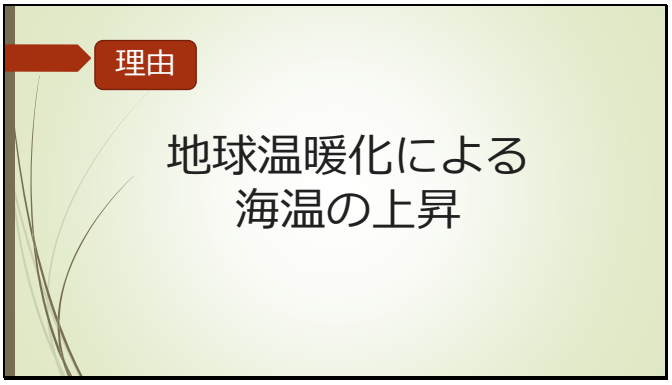
これら３つの学習が直接的に係わっていたり、間接的に係わっていたりしています。



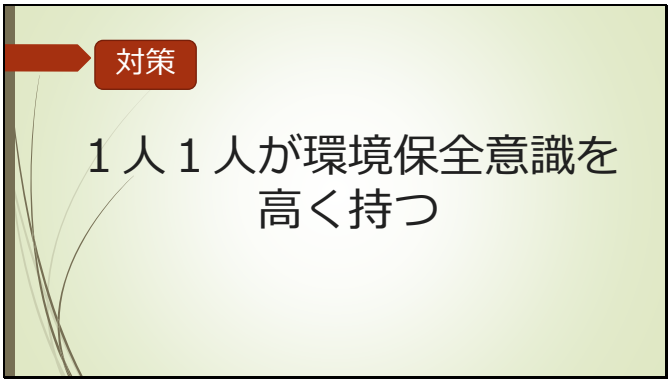
これらの活動を通じて私は、人の暮らしが海洋保全を上回ってきていると考えました。具体的には、自動車や機械の発達、自然の埋め立てなどで、環境を保護することができなくなっていると感じました。



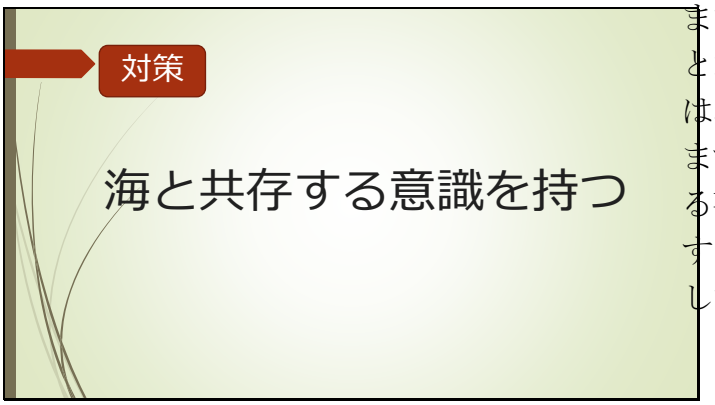
また、羅臼町でも年々漁獲量が減少しています。ということは、確実に海洋生物が減少しているとかんがえました。また、その地域では獲れない魚が獲れるなどの減少が起きています。



これらすべての理由は地球温暖化による海温の上昇にあると思います。私もですが、環境保全の意識が低いのでこれらの結果になったと思います。



対策として、一人ひとりが環境保全意識を高く持ち、できるだけ自然を守るような活動を小さな事でも行動できたら良いと思います。



また、海と共存している意識を持つことが大切と思いました。地域によっては、海が身近ではない所もあると思いますが、特に日本という国は島国である事もあるため、海を守り、海と共存する意識を持つことが大切だと思いました。